

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0278
施設名	光明第五保育園
施設所在地	八王子市山田町1688-2
法人名	社会福祉法人多摩養育園

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

《光のテーブルで水の動きを観察する》

<テーマの設定理由>

東京都が主催する「とうきょうすくわくプログラム」の『乳幼児期の豊かな育ちをサポートするため、主体的・共同的な探求活動を通じて幼児教育・保育の充実を図る』という目的に賛同し、本園でも取り組むにあたり、「身近な自然」で子ども達の興味、好奇心や探求心を刺激する事はなんだろうと考え、担当保育者を中心に全職員で話し合った結果、『光と水』をテーマに決定した。様々な自然現象を通して、光と水にちなんだ様々な体験ができるようにしていきたい。

## 2. 活動スケジュール

年中児4人・年長児1人で実験を行った。始めに光のテーブルの光をつけ、光に照らされた水の様子を観察する。その後水を手で動きを作ることで水の動きや流れを観察する。タイルの玩具を浮かばせることで

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・「hikari to table」「イロイロモザイク」「キューブック」を購入

保育室内で使用する際に一部暗く出来る場所に「hikari to table」を設置し、且つ使用する際はパーテーションを設置し周囲からの刺激を極力減らし光と色の変化の世界に没頭出来る様にした。

#### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

○

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

光のテーブルのスイッチをつけました。

側面から覗いてみるとお友だちの顔が見えたようで

「顔が見えるよ」「（反対側のお友だちの顔が）反対に見える」

「目がいっぱい」

水に手を入れて混ぜてみます。

「くるくるになってきてる」

「冷たい」と声が上がりました。

保育者が水の泡を指さして「この泡はなに？」と聞くと

「ポコポコしてる」「シャボン玉みたい」

次に玩具を使います。

「2個に見えるよ」

「1個なのに4個ある」

「溶けてる」

「ペタンコになってる」

といった声が上がりました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

A large, empty rectangular box with a black border, intended for the user to write their reflections on the teacher's insights gained from the review process.